

汉语“应该”和与其对应的日语表现的对照研究

韩江雪 罗明辉

(湖南大学, 湖南省、长沙市, 410000)

摘要:

汉语的“应该”在日语中有多种对应说法。

通过使用《中日对译语料库》检索“应该”一词,我们可以发现,与其对应的日语表达便有诸如「～べきだ」、「～はずだ」、「～ものだ」、「わけだ」、「～に違いない」、「～なければならない」「～だろう」等形式。对于以汉语为母语的日语学习者来说,如何掌握这些表现的用法是一个难题。因此,我们有必要弄清“应该”和这些与其意思有对应的日语表现的具体对应关系。

本文将汉语“应该”和与其意思有对应关系的各个日语表现进行对照研究,弄明它们之间对应的情况和不对应的情况。

关键词: 应该, 日语表现, 对照研究, 对应关系

中图分类号: H **文献标识码:** A

汉语的“应该”在日语中有多种对应说法。

通过使用《中日对译语料库》检索“应该”一词,我们可以发现,与其对应的日语表达便有诸如「～べきだ」、「～はずだ」、「～ものだ」、「わけだ」、「～に違いない」、「～なければならない」「～だろう」等形式。

例如:

- 我奶奶也应该是抗日的先锋,民族的英雄。(红高粱)／祖母も抗日の前衛、民族の英雄であったにちがいない。
- 他不过觉得做一个“男儿”应该抛弃家庭到外面去,一个人去创造出一番不寻常的事业。(家)／一人の「男児」として、家庭を抛ち、外へ行って、何か非凡な仕事をなすべきだと考えているだけだ。
- 我们的祖父是绅士,我们的父亲是绅士,所以我们也应该是绅士吗?(家)／僕らの祖父も紳士だった、僕らの父も紳士だった、だから僕らも紳士にならなきゃいけないんでしょう?」
- 你身体素来弱,应该好好保养才是。(家)／生れつき丈夫な方じゃないんだから、十分養生した方がいいですよ。
- 应该反对恋爱,不可轻惹情丝。(家)／恋愛には反対すべし、軽々しく情に惹かされるべからず。
- 她觉得她除了性命外还应该有口的东西。(家)／彼女は生命以外に別のものがあるはずだと思ふのだ
- 晓燕,不应该叫爸爸这样着急呀!(家)／晓燕、おとうさまに、こんなに心配させるもんじゃないよ!

对于以汉语为母语的日语学习者来说,如何掌握这些表现的用法是一个难题。因此,我们有必要弄清“应该”和这些与其意思有对应的日语表现的具体对应关系。

本研究致力于弄清“应该”和以上日语表现的对应的场合以及不对应的场合,并在结论上得出了以下结果。

1) “应该”和「～はずだ」的对应关系

A 「～はずだ」和“应该”的对应。当「～はずだ」在表示判断、预定以及认知上的反差的意思的时候基本上与“应该”对应。但是在表示接受的意思时，与“应该”呈不对应关系。

例如：

- 家を出た時に鍵をかけるはずだ。(判断)
(出门的时候应该上锁了。)
- あの人は明日出発するはずですよ。(预定)
(那个人明天该走了。)
(那个人明天应该走了。)
- マニュアルを何回も読んだから、できるはずなんだけど、どうしてもコンピューターが起動しない。(认知上的反差)
(因为看了几遍说明书，应该是会了，但是电脑怎么也启动不了。)
- あれは産地直売ですよ。道理で安いはずですね。(接受)
(那是产地销售呀！怪不得便宜呢！)
(?那是产地销售呀！应该便宜呢！)

B “应该”和「～はずだ」的对应。“应该”在表示“推测状况必然如此”的意思时，与「～はずだ」呈现对应关系。然而，当“应该”被用于从现状想象、判断事实的情况的时候，以及用于第一人称的时候，与「～はずだ」不对应。

例如：

- 眼鏡找不到了，应该又忘在什么地方了。(从现状想象、判断事实)
(? めがねが見つからない。またどこかに置き忘れたはずだ。)
(めがねが見つからない。またどこかに置き忘れたのだ。)
- 我应该明年回国吧。
(? 私は来年帰国するはずですよ。)
(私は来年帰国するつもりですよ。)

2) “应该”和「～べきだ」的对应关系

A “应该”和「～べきだ」对应的情况

“应该”和「～べきだ」在以下几种情况下呈现对应关系。

首先是在「～べきだ」表示“从道理以及事物的客观存在上考虑，做这件事是理所应当”的意思时与“应该”对应。一般用于叙述说话人的意见，但在用于对方的行为时，则有忠告，建议，命令的意思。

- あのことに、彼は責任を取るべきです。
(关于那件事他应该负责任。)
- 学生は真面目に勉強するべきです。
(学生应该认真学习。)

还有一种情况是当「～べきだ」用于过去的事情，表示“这样做就好了”、“不这样做就好了”的意思时，与“应该”呈现对应关系。

- 僕もこちらを買うべきでした。
(我应该也买这个的。)
- 若い時によく勉強しておくべきでした。
(年轻的时候应该好好学习的。)

B “应该”和「～べきだ」不对应的情况

I. 「～べきだ」表示“想要这样做”、“打算这样做”的意志的意思的时候。

- 大学に進むべく上京しました。

(? 应该上大学到东京去了。)

(为了上大学到东京去了。)

- 手紙を書くべく机に向かいました。

(? 应该写信坐到了桌前。)

(想写信坐到了桌前。)

II. 以「～べくもない」的形式使用时，表示“不可能做”、“不可能”等强烈否定的意思时。

- 私はそんな大金を手に入れることなど望むべくもないことです。

(? 我不应该指望得到那样一笔巨款。)

(我不指望得到那样一笔巨款。)

- その頃、私は日本にいなかったのだから、あなたが結婚したことは知るべくもないことでした。

(? 我那时候不在日本，所以不应该知道你结婚的事。)

(我那时候不在日本，所以不可能知道你结婚的事。)

III. 以「～べからざる」的形式使用时，表示不可能的意思的时候。

- 彼の暴力は許すべからざる行為です。

(? 他的暴力是不应该被允许的行为。)

(他的暴力是不能允许的行为。)

- 電気はもうわれわれの日常生活に必要欠くべからざるものとなりました。

(? 电已成了我们生活中不应该缺少的东西。)

(电已成了我们日常生活中必不可少的东西。)

IV. 以「～べからず」的形式使用时，用于句尾，表示“不能做”等禁止的意思时。

- 無用の者入るべからず。

(? 闲人不应该进。)

(闲人免进。)

- 嘘をつくべからず。

(? 不应该说谎。)

(不可说谎。)

3) “应该”和「～わけだ」的对应关系

A “应该”和「～わけだ」对应的情况

I. 当自语型的「～わけだ」表示结果时，如果是表示根据前面的理由推测出后面结果的意思的话，这时的「～わけだ」和“应该”的“推测状况必然如此”的用法相对应。

- イギリスとは時差が8時間あるから、日本が11時ならイギリスは3時なわけです。

(日本和英国的时差是八个小时，因此日本是十一一点的话，英国自然是三点。)

(日本和英国的时差是八个小时，因此日本是十一一点的话，英国应该是三点。)

II. 当自语型的「～わけだ」表示对事实的主张时，如果是没有理论上的根据的情况，因为含有推测的意思，所以与“应该”相对应。

- それでは、学校にこういう規則があるということは誰でも知らなかったわけですね。
(那么, 也就是说, 谁也不知道学校有这种规章制度, 是吗?)
(那么, 也就是说, 应该谁也不知道学校有这种规章制度, 是吗?)
- III. 当对话型的「～わけだ」表示结论时, 如果是从前面的事实推测后面还没发生的事情的情况, 则和“应该”的“推测状况必然如此”的用法相对应。
 - A: また運賃が上がるんだそうですね。
(听说运费又要涨了, 是真的吗?)
B: そうらしいね、20%上がるという話しです。
(好像是, 据说要涨百分之二十。)
A: すると、他の物も値上がりするわけですね。
(如此说来, 其它东西也要涨价了吧?)
(如此说来, 其他东西应该也要涨价了吧?)
B: そういうわけです。ありがたくないですね、まったく。
(可不是吗! 真烦人。)
- IV. 当对话型的「～わけだ」表示理由时, 所呈现的情况是对方在说明一事实之后, 自己对于对方所说事实的原因, 理由和前提的推测。这时「～わけだ」和“应该”的“推测状况必然如此”的用法相对应。
 - A: 川本さん、車大きいのに買い換えたらしいよ。
(听说川本先生换大车了。)
B: へえ。子供が産まれて前のが小さくなったわけだね。
(嘿! 可能是由于生了孩子以后, 以前的车小了吧。)
(嘿! 应该可能是由于生了孩子以后, 以前的车小了吧。)
A: いや、そうじゃなくて、単に新車がほしくなっただけのことらしいけど。
(不, 不是。听说是喜欢上新车了。)
- V. 「～ないわけにはいかない」表示一种义务, 这时它和“应该”的“实际或者情理上的必要性”的意思相对应。
 - いくら忙しくても、親友の結婚式とあれば、出席しないわけにはいきません。
(即使再忙, 好朋友的婚礼也不能不参加。)
(即使再忙, 好朋友的婚礼也应该参加。)
- B “应该”和「～わけだ」不对应的情况
- I. 当自语型的「～わけだ」表示结果时, 句子前面的原因是对后面已发生的事情的说明, 因此这时「～わけだ」和“应该”呈现不对应的关系。
 - 昨日習ったばかりだから、よくできるわけです。
(因为昨天刚学过, 所以还记得。)
(? 因为昨天刚学过, 所以应该记得。)
 - そんなことを言ったのでは、あの人が怒るわけです。
(你那么说, 他当然要生气了。)
(? 你那么说, 他应该要生气了。)
- II. 当自语型的「～わけだ」表示换言之的意思时, 是对前面已经表述的事实换一种说法进行说明。这时它与“应该”的两种用法所表达的意思并不一致, 因此这时「～わけだ」和“应该”呈现不对应的关系。

- 彼女の父親は私の母の弟です。つまり彼女と私はいとこ同士なわけです。
(她父亲是我母亲的弟弟, 也就是说我和她是表兄妹。)
(? 她父亲是我母亲的弟弟, 也就是说我和她应该是表兄妹。)
 - 私はおいしいものを食べることが一番幸せです。言い換えれば、まずいものを食べることはないわけで、それが強制されたものだとおさらです。
(我吃好吃的东西的时候最高兴, 换句话说我从不吃难吃的, 如果强迫我吃难吃的, 结果就可想而知了。)
(?我吃好吃的东西的时候最高兴, 换句话说我应该从不吃难吃的, 如果强迫我吃难吃的, 结果就可想而知了。)
- III. 当自语型的「～わけだ」表示理由时, 所表达的意思是对于前项事实所发生的已知的理由的说明, 这时它与“应该”的两种用法所表达的意思并不一致, 因此这时「～わけだ」和“应该”呈现不对应的关系。
- 今年は米のできが良くありませんでした。冷夏だったわけです。
(今年的稻子收成不好, 是由于冷夏的原因。)
(? 今年的稻子收成不好, 应该是由于冷夏的原因。)
 - 彼女は猫を3匹と犬を1匹飼っています。一人暮らしで寂しいわけです。
(她养了三只猫和一只狗, 是因为一个人生活寂寞的原因。)
(? 她养了三只猫和一只狗, 应该是因为一个人生活寂寞的原因。)
- IV. 当自语型的「～わけだ」表示事情的主张时, 表达的是对于有理论依据的事实的主张, 这时它并没有推测的意思在里面, 与“应该”呈现不对应的关系。
- 予定表をご覧になればお分かりのように、まず上海の行くわけです。
(你看了日程表就明白了, 首先是去上海。)
(? 你看了日程表就明白了, 应该首先是去上海。)
 - 私は国際交流関係のボランティア活動はすでに十年近くやってきているわけですし、自慢じゃありませんが、みなさんよりもずっと経験はあるわけです。そういう立場の者として提案させていただいているわけです。
(我已经做了将近十年与国际交流有关的社会福利活动, 这并不是自夸, 我比大家都有经验, 因此做了这样的提案。)
(? 我已经做了将近十年与国际交流有关的社会福利活动, 这并不是自夸, 我应该比大家都有经验, 因此做了这样的提案。)
- V. 当对话型的「～わけだ」表示结论时, 所表达的意思是, 对于感到不可思议的事情, 在听到对方的话后了解到其中的原因和理由后, 表示了接受的心情。这时「～わけだ」和中文的“难怪”, “怪不得”所表达的意思一致, 与“应该”呈不对应的关系。
- A: 山本さん、結婚したらしいですよ。
(说是山本先生结婚了。)
 - B: ああ、そうだったんですか。それで最近いつもきげんがいいわけだな。
(啊, 原来是这样。怪不得最近情绪特别好。)
(?啊, 原来是这样。怪不得最近应该情绪特别好。)
- VI. 当对话型的「～わけだ」表示换言之的意思时, 是将前面对方所讲述的事实用自己的说法表达或者是对前面对方所述的事实表达自己的理解, 这时它与“应该”的两种用法所表达的意思并不一致, 因此这时「～わけだ」和“应该”呈现不对应的关系。
- A: この間書いた小説、文学賞がもらえたよ。

(我上次写的小说得奖了。)

B: あなたもようやく実力が認められたわけね。

(就是说, 你的实力终于得到承认了。)

(? 就是说, 你的实力应该终于得到承认了。)

VII. 「～わけだから～は当然だ」表示的是已经发生的事实, 这时它与“应该”的两种用法所表达的意思并不一致, 因此这时「～わけだ」和“应该”呈现不对应的关系。

- 彼は中国駐在員だったわけだから、中国語が話せるのは当然です。

(因为他原来是驻在中国的人员, 会说中国话是理所应当的。)

(? 应该因为他原来是驻在中国的人员, 会说中国话是理所应当的。)

- あの議員は履歴を偽って国民を騙していたわけだから、辞職は当然のことです。

(因为那个议员伪造履历, 所以辞职是当然的。)

(? 应该因为那个议员伪造履历, 所以辞职是当然的。)

VIII. 「～わけだから～ても当然だ」的「～わけだ」表达的已经确定的事实。这时它与“应该”的两种用法所表达的意思并不一致, 因此这时「～わけだ」和“应该”呈现不对应的关系。

- 彼女は大学を出てからもう8年も経っているわけだから、結婚していても当然だろう。

(她大学毕业已经八年多了, 所以结婚是当然的。)

(? 应该她大学毕业已经八年多了, 所以结婚是当然的。)

- 彼は工学部を卒業しているわけだから、パソコンが使えても当然なのに、まったく使えないらしい。

(因为他是工学院毕业的, 按理说应该会用电脑, 但是他好像一点也不会。)

(? 应该因为他是工学院毕业的, 按理说应该会用电脑, 但是他好像一点也不会。)

IX. 「～わけではない」表达的是否定的意思, 这时它与“应该”的两种用法所表达的意思并不一致, 因此这时「～わけだ」和“应该”呈现不对应的关系。另外, 这个表达方式基本上是说话人表达自己的想法的一种说法, 所以用“应该”来替换并不合适。

- あなた一人が悪いわけではなく、みんなが気を付けなければならなかったことです。

(并不是说你一个人不好, 而是要大家都注意。)

(? 应该并不是说你一个人不好, 而是要大家都注意。)

- 私は、普段あまり料理をしないが、料理がきらいなわけではありません。忙しくてやる暇がないだけなのです。

(我平常不做饭, 并非讨厌做饭, 而是由于忙没时间做。)

(? 我平常不做饭, 应该并非讨厌做饭, 而是由于忙没时间做。)

X. 「～ないわけにはいかない」表现的是义务的意思, 这时它与“应该”的“实际上或情理上的必要性”这一意思有一定的对应关系, 但是, “应该”在表示“实际上或情理上的必要性”这一意思时, 含有意见, 命令等意思在里面, 因此当「～ないわけにはいかない」在表达这样做是没有办法的事这一意思时, 它与“应该”呈现不对应的关系。

- 資金が思うように集まらないので、計画を縮小しないわけにはいきませんでした。

(因为资金募集未能如愿, 所以不得不缩小计划了。)

(? 因为资金募集未能如愿, 所以应该要缩小计划。)

- あんまり勧められたから、行かないわけにはいきません。

(他非要让我去, 所以不能不去。)

(? 他非要我去, 所以应该去。)

4) “应该”与「～だろう」的对应关系

A “应该”与「～だろう」对应的情况

I. 当「～だろう」表达推测的意思时, 表现的是从一个事实来推测其他的事情的意思, 这时「～だろう」和“应该”的“推定状况必然如此”这一意思呈现对应的关系。

- あしたもきっといい天気だろう。

(明天肯定是个好天儿吧。)

(明天应该是个好天儿吧。)

- この辺は木も多いし、たぶん昼間も静かだろう。

(这一带树木也很多, 白天一定很安静吧。)

(这一带树木也很多, 白天应该很安静吧。)

II. 当「～だろう」表达确认的意思时, 因为含有预测的意思在里面, 所以与“应该”的“推定状况必然如此”这一意思呈现对应的关系。

- A: 君も行くだろう?

(你也去吧?)

(你应该也去吧?)

B: はい、もちろん。

(那当然。)

- A: 美術館はバスを降りてすぐみつかりました。

(下了公共汽车马上就找到美术馆了。)

B: 行くの、簡単だっただろう。

(去那儿很容易吧。)

(去那儿应该很容易吧。)

III. 当「～のだろう」表达推测的意思时, 所表现的是对于已经发生的事情的理由的推测, 这时它与“应该”的“推定状况必然如此”这一意思呈现对应的关系。

- 大川さんはうれしそうだ。何かいいことがあったのだろう。

(大川好像很高兴, 也许有什么好事了吧。)

(大川好像很高兴, 应该有什么好事了吧。)

- 子供はよく眠っている。今日一日よく遊んだのだろう。

(孩子睡得很香, 一定是今天玩了一天玩累了。)

(孩子睡得很香, 应该是今天玩了一天玩累了。)

IV. 当「～のだろう」表达确认的意思时, 所表达的意思是向对方求证自己对于还没确定的事情的推测, 这时它与“应该”的“推定状况必然如此”这一意思呈现对应的关系。

- A: 10年ぶりの同窓会だね。君も行くんだろう?

(是时隔十年才开的同窗会呀。你也去吧?)

(是时隔十年才开的同窗会呀。你应该也去吧?)

B: うん、行くつもりだ。

(嗯, 我准备去。)

V. 「～ことだろう」表达对于某种状况的推定, 推测, 这时它与“应该”的“推定状况必然如此”这一意思呈现对应的关系。

- 長い間会っていないが、山田さんのこどもさんもさぞおおきくなったことだろう。
(好多年不见了，山田先生的孩子也一定长高了吧。)
(好多年不见了，山田先生的孩子也应该长高了吧。)
- 市内でこんなにふっているのだから、山のほうではきっとひどい雪になっていることだろう。
(市内都下那么大，山里一定在下大雪呢吧。)
(市内都下那么大，想必山里应该在下大雪呢吧。)

VI. 「～といってもいいだろう」含有推测以及必然不是这样的意思，因此它与“应该”的“推定状况必然如此”这一意思呈现对应的关系。

- これは、この作家の最高の傑作だといってもいいだろう。
(可以说这是这个作家的最高杰作吧。)
(应该可以说这是这个作家的最高杰作吧。)
- 川田さんは、かれの本当の恩師だといってもいいだろう。
(川田可以说是他的真正的恩师吧。)
(川田应该可以说是他的真正的恩师吧。)

B “应该”和「～だろう」不对应的情况

I. 「～のだろう」表达推测的意思时，在它与「きっと」等副词一起使用的情况下，整个句子表达的推测的确定性是非常高的，相当于中文的“一定”，“肯定”。这种情况下的确定性比“应该”的程度还要高，所以与“应该”呈不对应关系。

- 大きなスーパーマーケットができて一年もしないうちに、前の八百屋は営業をやめてしまった。きっと、お客をみんなとられたのだろう。
(大型超级市场建成不到一年，从前的那个菜店就停止营业了。一定是顾客都被超级市场夺去了。)
(? 大型超级市场建成不到一年，从前的那个菜店就停止营业了。一定应该是顾客都被超级市场夺去了。)

II. 当「～のだろう」表达确认的意思时，表现的是向对方确认已经知道的事实，没有推测的意思在里面，因此与“应该”呈不对应关系。

- A: 来月ディズニーランドに行くの。
(下个月我去迪士尼乐园。)
- B: え、また? もう何回も行ったんだろう?
(怎么，还去? 你不是已经去过好多次了吗。)
(? 怎么，还去? 你应该已经去过好多次了吗。)

5) “应该”和「～に違いない」的对应关系

「～に違いない」在用于单独的句子时，含有确认并接受的意思，比起“应该”的“推测状况必然如此”，其确信的度更高，因此与“应该”呈不对应关系。但是，当「～に違いない」用于对话时，含有说服对方的意思在里面，表达一种推测，因此与“应该”的“推测状况必然如此”这一用法呈现对应关系。

- あんな素晴らしい車に乗っているのだから、田村さんは金持ちに違いない。
(田村开那么好一辆车，一定很有钱了。)
(? 田村开那么好一辆车，应该很有钱了。)
- A: この足跡は?

（这个脚印是谁的？）

B:あの男のものだ。犯人はあいつにちがいない。

（就是那个人的。那家伙肯定是凶手了。）

（就是那个人的。那家伙应该就是凶手了。）

6) “应该”和「～なければならない／なければいけない」的对应关系

「～なければならない／なければいけない」在表示义务时，“应该”的“实际或者情理上的必要性”的意思相对应。但是，在表示对对方的强烈的命令和没有商量余地的必要性时，与“应该”呈不对应关系。

- 教師は、生徒に対して公平でなければならない。

（老师对学生必须公平。）

（老师对学生应该公平。）

- (118) そろそろ、帰らなければいけません。

（差不多该回去了。）

参考文献

- [1] 国广哲弥.ことばの意味[M].平凡社.1982 年版
- [2] 吕叔湘.中国文法要略[M]商务印书馆.1982 年版
- [3] 森田良行.基礎日本語 2-意味と使い方[M].角川书店.1987 年
- [4] 加藤彰彦, 佐治圭三, 森田良行.『日本語概説』. 桜楓社. 1989 年
- [5] 森山卓郎.ト思ウ、ハズダ、ニチガイナイ、ダロウ副詞～一不確実だが高い確信があることの表現一. 日本語類義表現の文法 [M].くろしお出版.1996 年
- [6] 三宅知宏.ニチガイナイとハズダとダロウ. 日本語類義表現の文法 [M].くろしお出版.1996 年
- [7] 张麟声.助動詞の「べきだ」と「はずだ」. 日本語教育のための誤用分析 中国語話者の母語干渉 20 例[M].スリーエーネットワーク.2001 年.
- [8] 张麟声.中国語話者のための日本語教育研究入門[M].日中言語文化出版社.2011 年
- [9] 日本語記述文法研究会.現代日本語文法 1[M].くろしお出版.2013 年
- [10] 奥田靖雄.現実. 可能. 必然（上）. ことばの科学 1[M].むぎ書房. 1986 年
- [11] 奥田靖雄.現実. 可能. 必然（中）. ことばの科学 7[M].むぎ書房. 1996 年
- [12] 奥田靖雄.現実. 可能. 必然（下）. ことばの科学 9[M].むぎ書房. 1999 年
- [13] 奥田靖雄.説明（その 2）－わけだ－. ことばの科学 5[M].むぎ書房. 1992 年
- [14] 奥田靖雄.説明（その 3）－はずだ－. ことばの科学 6[M].むぎ書房. 1993 年
- [15] 益岡隆志.モダリティの文法[M].くろしお出版.1991 年
- [16] 丹羽哲也.「「べきだ」と「なければならない」」.『大阪学院大学人文自然論叢 23. 24』. 1991 年. 53－72
- [17] 郷丸静香.「現代日本語の当為表現——「なければならない」と「べきだ」一」.『三重大学日本語学文学』6. 三重大学日本語学文学会. 1995 年. 29－39
- [18] 野林靖彦.「「ベキダ / ホウガイイ」「ナケレバナラナイ」が表し分ける評価的態度の差異と類似」.『文芸研究』141. 日本文芸研究会. 1996 年 a. 1－11 [19] 野林靖彦.「「～べきだ」「～ナケバナラ

ナイ」「～サルヲエナイ」ー3 形式が表わす当為判断の連関」．『東北大学文学部日本語学科論集』6．東北大学文学部日本語学科．1996 年 b．69－80

[20] 中畠孝幸．「当然を表すモダリティ形式についてーハズダとベキダ」．『甲南大学紀要(文学編)』111．1998 年

[21] 雨宮雄一．「「するべきだ」「したほうがいい」と「しなくてはいけない」の違いについての覚え書き」．『現代日本語研究』7．大阪大学文学部日本語学科現代日本語学講座．2000 年．12－24

[22] 宮崎和人他．モダリティ[M]．くろしお出版．2002 年

[23] 高梨信乃．「評価のモダリティを表す助動詞「べきだ」」．『神戸大学留学生センター紀要』11．2005 年．1－14

[24] 玉地瑞穂．「中国語のモーダルマーカ―の文法化に関する一考察ー「應該 yinggai」と「要 yao」の例——」．『高松大学紀要』45．高松大学．2006 年．175－188

[25] 黎锦熙．新著国语文法[M]．商务印书馆．1956 年

[26] 王宏．日语表达方式初探[M]．商务印书馆．1981 年

[27] 现代日语语法手册编写小组编著．现代日语语法手册[M]．黑龙江人民出版社．1985 年

[28] 赵福泉．海澄波．日语常用词语惯用法[M]．外语教学与研究出版社．1986 年

[29] 王力．中国现代文法 [M] ．商务印书馆．1985 年

[30] 李临定．现代汉语句型 [M] ．商务印书馆．1986 年

[31] 高名凯．汉语语法论 [M] ．商务印书馆．1986 年

[32] 赵福泉．日语语法疑难辨析 [M] ．上海外语教育出版社．1988 年

[33] 谢秀忱．曹时谦．蒋永顺．日语语法用例手册[M]．机械工业出版社．1994 年

[34] 劉笑明．「判断系のモダリティー「なければならない」と「べきだ」を中心に」．『国語国文研究』109．北海道大学国語国文学会．1998 年．58－64

[35] 王彦花．『日語語法難点実例分析』．商務印書館．1998 年

[36] 邢志強．「～べきだ」「～はずだ」「～わけだ」の意味と中国語への訳し方．北見大学論集第 22 巻第 2 号．2000 年．452－454

[37] 張偉莉．「「能願動詞」と否定の関係に関する考察ー「應該」を通して——」．『日本言語文化研究』11．龍谷大学．2007 年．A18－A32

[38] 程焱．「能願動詞“应该”に対応する日本語表現について」．『日中言語対照研究論集』11．日中対照言語学会．2009 年．137－151

[39] 程焱．「日本語の助動詞「べきだ」と中国語の能願動詞“应该”一意味的対応関係と人称制限問題を中心に一」．『日中言語研究と日本語教育』第二号．2009 年．63－73

[40] 日本語記述文法研究会．現代日本語文法 4[M]．くろしお出版．2013 年

使用したコーパス

北京日本学研究中心《中日对译语料库》(第一版)2002 年版

The comparative study of the Chinese ‘yinggai’ and its corresponding Japanese expressions

Han Jiangxue

(Hunan University, Changsha / Hunan, 410000)

Abstract:

The Chinese ‘yinggai’ has many corresponding Japanese expressions.

When we search ‘yinggai’ through the “Sino-Japanese Translation Corpus”, we can see that ‘yinggai’ has many corresponding Japanese expressions such as 「～べきだ」、「～はずだ」、「～ものだ」、「わけだ」、「～に違いない」、「～なければならない」 and 「～だろう」. For Chinese students who learn Japanese, how to use those Japanese correctly is a big problem. Therefore, we need to clarify the specific correspondence between ‘yinggai’ and those Japanese expressions.

Keywords: yinggai, Japanese expressions, comparative study, correspondence